



## (2) 第2次男女共同参画プランについて質問

①平成19年度を初年度とした愛西市男女共同参画プランの各種施策・事業の進捗評価、実績評価の報告を。

「答弁 総務部長」

計画数値目標の1つに、男女共同参画社会の認知度がある。アンケートの結果から、目標設定は46.1%だが、結果は59.1%あった。しかし、最終的には社会全体で見た男女の平等感、これについては依然として男性の方が優遇されていると感じている人の割合が高い。男女が共に担う地域社会づくりにおいては、施策や政策の決定過程において女性の参画が今後より必要不可欠になるという考え方でいる

②第2次愛西市男女共同参画プラン(案)の中で特に課題となる事柄は何か。

「答弁 総務部長」

今回の2次計画の中で、2つの重点課題を設けている。1つが、男女共同参画意識を高める啓発活動の充実。2つ目が、あらゆる暴力の根絶と支援体制の充実である。

③東日本大震災の教訓から女性の目線による防災対策が必要。本市の考えは。

「答弁 経済建設部長」

大震災による避難所生活での問題・課題として整理している。取り組んだのは、女性の目線による備蓄品として、粉ミルク・哺乳瓶・子供用のおむつ・女性用品があり、保健師と調整をとりながら備蓄を図っている。当然、避難所にはトイレの問題がある。仮設トイレに関して新年度予算で30基の増設を願い、トイレ不足にも配慮する。

## (3) 「本市のPR活動」の推進について質問

①自主財源の確保に対する本市の方針・考え方は。

「答弁 企画部長」

自主財源の確保に向けては現在取り組んでいる内容としては、ホームページへのバーナー広告・広報誌裏面の企業広告がある。企業誘致については、担当課において優遇制度ができないか検討に入った。また、観光資源を活用した業の展開も考えている。

## (4) 期日投票の簡素化について質問

①「期日前投票の理由を選んで提出する宣誓書」に関して、本市でも投票入場券の裏に宣誓書の様式を印刷する方法の導入を。

「答弁 総務部長」

選挙登録人名簿のPCによるシステム化の導入を図っており、終了後検討に入る予定である。

